

三崎臨海実験所 利用の手引き

平成20年10月16日改定

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所
住 所 : 〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代1024
電 話 : 046-881-4105 (代表)
Fax : 046-881-7944
E-mail
(事務室) : misaki@mmbs.s.u-tokyo.ac.jp
(採集室) : rinkai@mmbs.s.u-tokyo.ac.jp
URL : <http://www.mmbs.s.u-tokyo.ac.jp/>

1. 利用目的、資格、施設・設備

1) 目的

当臨海実験所は、海洋生物及び関連分野の研究（セミナー・会議等を含む）及び実習、研修等の教育の目的に利用できます。

2) 資格

当臨海実験所は、国内外の大学・研究機関に所属する研究者、学部・大学院学生が外来利用研究に利用出来ます。

また所長が特別に認めた場合、東京大学の職員研修、高校・中学校等の教育活動、その他研究・教育活動目的の個人、団体も利用できます。

3) 施設・設備

外来利用者の方は《別表1》の施設・設備・実験動物等が利用できます。なお、外来利用研究の実施は原則的に記念館を御利用いただきます。

各種施設・設備の利用料金については《別表2》を御覧ください。

＜別表１＞利用できる施設・設備

用 途	施 設	設 備
実習・実験	記念館（旧本館）	実習室 大（30名）、小（10名） 学生実習用顕微鏡（30台）、実体顕微鏡（15台）、電気スタンド
	新実験研究棟	実験机（所内教官との共同研究の場合）
	飼育水槽室	水槽（大、中、小）
セミナー ・会議	新実験研究棟	ゼミナール室（40名） ※プロジェクタの使用可能
野外採集 ・調査研究	臨海丸	Aフレーム、ウィンチ（1500mウィンチ 6mmワイヤー） ドレッジ採集等が可能
	和船	船外機
	木造和船	手漕ぎ（櫓）
通 信	新研究棟事務室	電話、Fax
	新研究棟図書室・ 宿泊棟２階ホール	コンピューター、インターネット有線接続（10/100BaseT）
	全施設	インターネット無線接続（IEEE802.11b）
休 憩	記念館休憩室	軽食調理設備
宿 泊	宿泊棟１階	シャワー室、洗濯機、コイン乾燥機（有料）、食堂、自動販売機
	宿泊棟２階	宿泊室（全12室）、演習室、ホール
食 事	宿泊棟１階食堂	昼食、夕食（団体のみ）（平日のみ）
駐 車	宿泊棟駐車場	5台（宿泊者用）
	野外駐車場	12台
その他	実験研究棟事務室	プロジェクター等の貸出、Tシャツ販売

2. 申込手順

1) 利用方法

実験所の利用を希望する方は、まず電話、E-mail、Fax等で事務室に御連絡下さい。日程等を相談、調整いたします。新規利用の方については所長が決裁します。

実験動物の供給をご希望の場合は、あらかじめ採集室までご相談下さい。

2) 利用申込書類

日程等の調整がございましたら利用申込書《様式１》を提出して下さい。（利用者は全員必須）

Excelファイルの ①利用申込書《様式1-1》及び ②利用者名簿&食事申込表《様式1-2》の両方のシートに記入を御願いたします。

※ e-mailによる添付での提出が望ましいですが、faxまたは郵送でも構いません。

また、実習や野外活動等、下記に記した活動を行う予定がある場合は、上記利用申込書の他に該当する書類を提出して下さい。

○実習利用団体	実習予定表 《書式自由》
○新規利用者・団体	新規利用申請書 《様式3》
○実験動物の採集が必要な場合	実験動物採集願 《様式4》
○臨海丸、和船を使用の場合	船舶利用申込書 《様式5》
○野外活動を実施する場合	潜水・野外活動実施願 《様式6》
○素潜りによる潜水を行う場合	素潜り潜水誓約書 《様式7》
○潜水作業を行う場合	スキューバ潜水誓約書 《様式8》

3) 申込期間

(1) 外来研究利用については随時受付をいたします。実習、セミナー等の利用申込受付開始日は以下の通りです。

- ① 実 習 : 前年度の1月4日
- ② セミナー・会議 : 3ヶ月前

※カリキュラム編成、助成金申請等で上記受付開始日以前に申込をされたい場合、仮予約という形で受付可能ですが、後日日程を調整していただく場合があります。

(2) 利用申込は先着順を原則といたしますが、実習・セミナー等、多人数の利用につきましては下記の優先順位をもとに日程調整を図ることがあります。

- ①本実験所主催の実習・セミナー等の活動
- ②東大理学部の実習利用
- ③東大他学部の実習利用
- ④その他大学（院）の実習利用
- ⑤外来利用研究
- ⑥SPP等、公的助成を伴う高校・中学校の生徒・教員を対象にした実習利用
- ⑦セミナー・会議等の利用
- ⑧その他教育機関（小・中・高校等）の教育活動
- ⑨上記以外の利用

(3) 野外採集や野外研究教育活動を行う場合、漁業組合等との調整が必要ですので、遅くとも1週間前までに申込願います。

3. 来所時の手続

1) 実験動物・船舶等を御利用予定の場合、荒天等で利用できない事もありますので、来所前に採集室に御確認下さい。

2) 実験所に到着したら事務室で下記の手続きを御願いたします。

- ① 実験所利用料金の納入
- ② 食事数、部屋割りの確認
- ③ 建物、実験室及び宿泊棟等の鍵の受取
- ④ 安全マニュアル・注意事項等の受取、及び誓約書の署名

事務手続き時間は、平日の10:00～12:00、13:00～16:00です。土・日・祝日の利用を御希望の方は、事前に事務室と手続き方法について御相談下さい。また、その場合、利用料金は来所前に現金書留等でお支払い願います。

3) 来所後なるべく早い時期に実験所教員、採集室技術職員と研究又は実習の打ち合わせ（教員とは実習室・研究室の割当、技術職員とは、採集・潜水作業等の実施等）をして下さい。

4) 予め研究用機材等の荷物を宅配便で送られる場合は、事務室にその旨を連絡し、荷物が平日業務時間内に到着する様に手配して下さい。

5) 自動車で来所された方は事務室に御連絡下さい。発行された駐車許可書を車のダッシュボードに掲示の上、指定された駐車場に駐車して下さい。

4. 退所時の手続

1) 使用した研究室・実習室・部屋・設備・備品等の清掃・整理・整頓を行って下さい。

2) 事務室にて利用した鍵等の返却をして下さい。

5. 研究室・実習室の利用

1) 外来利用研究及び実習実施場所は原則として記念館実習室となります。実験研究棟の研究設備は所内教員・大学院生の研究活動に用いておりますので、原則として利用できません。利用を許可された設備も、使用の際は必ず担当教職員の指示に従い、実験所及び他の外来利用者の研究活動に支障を与えないように御協力願います。

2) 研究用機材・試薬等の持ち込みを希望される場合は、必ず事前に事務室にご相談下さい。

- 3) ファクシミリ、コピー、コンピューター、図書室の書籍・雑誌等の利用については事務室に問い合わせして下さい。
- 4) 臨海丸・和船を利用する方は、採集室と打合せの上、ライフジャケット・救命うきわ等を装備して乗船して下さい。
- 5) 臨海実験所を利用する教員・研究者は臨海実験所LANに接続し、インターネットにアクセスする事ができます。利用については担当者（杉井）または事務室にお問い合わせ下さい。
- 6) 記念館および実験研究棟には休憩室が各1部屋あり、軽食用の調理設備が備えてあります。食料等は備えてありませんので、各自ご用意下さい。

6. ゼミナール室の利用

- 1) 実験研究棟のゼミナール室（40名）及びゼミナール室＋会議室（60名）が利用できます。
- 2) 液晶プロジェクター、OHP等が利用できます。使用を希望する方は事前に事務室に申し込んで下さい。

7. 宿泊棟の利用

1) 宿 泊

- (1) 宿泊室のチェックインは16:00、チェックアウトは10:00です。
清掃作業の都合上、特に**チェックアウト時間は厳守**願います。チェックアウト後の荷物類の保管は、宿舎棟管理者又は事務室にご相談下さい。
- (2) ベッドメイキングは各自で願います。シーツ・枕カバー・毛布カバーなどのリネン類は宿泊棟2階ホールの棚に置いて有ります。使用後は、シーツ等を2階ホールに置いてあるクリーニング袋に入れ、寝具及び部屋の整頓をお願い致します。
- (3) 寝間着・タオル等は用意してありませんので各自ご用意下さい。
- (4) 食堂や2階ホールでの飲食や歓談は夜11時までとし、他の宿泊者及び宿泊棟管理者の迷惑や睡眠を妨げないよう御協力願います。
- (5) 節電のため、不在時の消灯及び冷暖房の停止にご協力願います。

2) 食 事

- (1) 食事は平日（月～金）の昼食が利用できます。一団体5食以上の利用がある場合は夕食も利用可能です。
- (2) 御利用は事前予約制です。利用ご希望の方は利用申込時に食事申込表の記入を御願いたします。供食可能数は最大35食です。供食可能数や当所の事情で食事を利用できない場合もございますので、事務室までお問い合わせ下さい。
- (3) 食材の仕入れの都合上、食事数に変更がある場合は前日の午前中までに事務室に御連絡下さい。連絡がない場合は、食事数が減る場合でも料金の払い戻しをいたしません。

- (4) 利用時間は、**昼食：12:00～12:30、夕食：18:00～18:30** です。**利用時間の厳守を御願いたします。**
- (5) 実習利用の場合のみ、土休日の食事の提供を考慮いたします。希望される場合は申込前に事務室までご相談下さい。
- (6) 朝食の提供はしておりません。実習等で朝食が必要な団体は、仕出し弁当屋をご紹介致しますので、事務室まで相談下さい。また、オーブントースター・湯沸かし器を食堂に用意しておりますので、御利用下さい。
- (7) 保健所の指導により厨房は立入禁止です。厨房内の調理用具、食器類の使用はできません。

3) 入 浴

- (1) 宿泊棟浴室の利用可能時間は6:00～24:00です。但し10:00～16:00は清掃が入ることがありますので、利用される場合は宿泊棟管理者に御連絡下さい。
深夜の使用は、ボイラー音が宿泊者の睡眠を妨げますのでご遠慮下さい。
- (2) シャンプー・石鹸は備え付けております。
- (3) 浴室の清掃を行うため、チェックアウト後の浴室の利用はご遠慮下さい。研究教育活動でチェックアウト後にシャワーの利用が必要な場合は事務室に御相談下さい。
- (4) 潜水活動用に記念館にもシャワー室があります。御利用希望の方は採集室まで御相談下さい。

8. その他利用上の注意事項

- 1) 臨海実験所は研究・教育のための施設です。適正な御利用をお願い致します。遊興、娯楽等を主目的とした利用はお断りいたします。
- 2) 実験所構内での花火・たき火など火気・危険を伴う行為は禁止します。また、三浦市の条例により午後10時以降の花火は市内全域で禁止されております。
- 3) 全ての建物（研究棟、記念館、水族館）は指定された場所以外は禁煙です。
- 4) 火災、盗難に気を付けると共に、環境安全に留意し、事故防止に努めて下さい。
- 5) 建物・設備・備品は丁寧に扱って下さい。
- 6) 掲示・その他実験所員の指示に従って下さい。

9. 交通

羽田空港から

（＊1 京浜急行空港線・約10分）→京急蒲田（京急本線快速特急または特急三崎口行・約60分）→三崎口〔駅改札口出て左〕（京急バス油壺行・約15分）→油壺→徒歩2～3分で実験所正門（油壺マリンパークの手前、左側）

新宿・東京方面から

（JR山手線）→品川（京急本線快速特急または特急三崎口行・約70分）→三崎口（以下同上）

1：（横浜市営地下鉄戸塚行・約30分）→上大岡〔乗換〕（京急本線快速特急または特急・約40分）→三崎口（以下同上）
2：（＊2 JR横浜線桜木町行・約20分）→横浜〔乗換〕（京急本線快速特急または特急・約50分）→三崎口（以下同上）

道路：

東名横浜町田IC→（保土ヶ谷バイパス）→（横浜横須賀道路）→衣笠IC→（三浦縦貫道）→林
 [左折]→（国道134号線）→引橋→（県道）→油壺入口[右折]→油壺
 ※行楽シーズンは道路の渋滞が予想されます。

